

みやま りん とう



令和7年度（2025年度）学校通信 第7号 令和7年10月27日発行

上川高校は「地域連携校」となります。

北海道上川高等学校長 近藤 伸

1 北海道にはどのくらいの数の高校があるか？

令和7年現在、272校の高校があります。（道立186校 市町村立31校 私立55校）

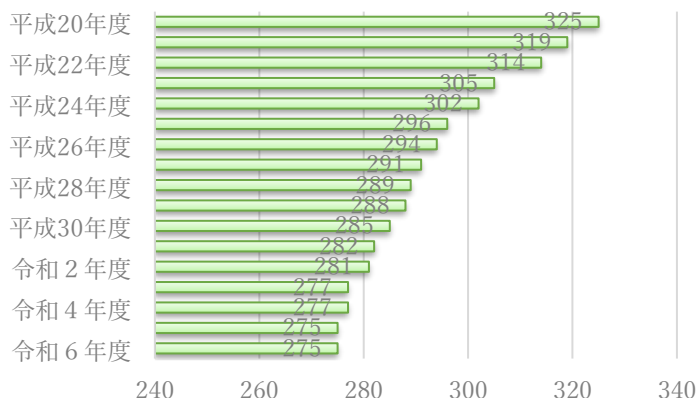
中学校卒業者数の減少が続いて、高校の募集定員の削減が避けられない状況の中で募集停止によって高校の廃校が増加しています。

H20年度には、325校存続していた高校数が、R7年度には272校と53校が閉校となっています。

毎年、高等学校の教育の普及及び機会均等を図るため、域内の公立高等学校の配置及び規模の適正化のために検討が行われています。（適正配置計画）

「高等学校進学希望者数に見合った定員を確保することを基本として、中学校卒業者の状況を踏まえ、生徒の多様な学習ニーズ、進路動向などに対応した学校・学科の配置や規模の適正化を図ることが趣旨とされています。

北海道の高校設置数（道立・市町村立・私立）



想定される「高校配置上の課題」

中卒者減少 地理的状況 高校がない自治体 高校小規模化 学級減による学科減 地域連携校存続

2 上川高校は「地域連携校」になります。

広域分散型の北海道では、生徒数や学級数が少ないからといって、すぐに再編・統合が進められるわけではなく、地域の教育機能の維持向上の観点や高校が地域で果たしている役割などを踏まえて、通学距離の面を考慮すると小規模のまま存続させたほうが良い場合もあります。

第1学年1学級の高校のうち、地理的状況等から高校再編が困難であり、かつ地元からの進学率が高い（50%程度）高校を「地域連携校」として位置付け、地域の教育資源を活用した教育活動を推進し、遠隔授業の配信により教育課程の充実を図ることができるようになります。

上川高校は、同一通学区域50km圏内に設定される「協力校（旭川東高校）」とペアリングさせて小規模の人員で地域の教育資源を活用して教育活動を推進することになります。連携や基準の緩和があるか。

- (1)授業に関する連携 連携校と協力校間や「T-base」（有朋高校配信）による遠隔配信授業
- (2)授業以外の連携 生徒会活動・部活動・教員間の研修交流等
- (3)再編基準の緩和

地域と連携して高校の特色化・魅力化、入学者確保に取り組む「集中取組期間」※を設けて再編整備を留保する。（在籍者が20人以下でも再編整備しない）

但し、集中取組期間中に5月1日時点の第1学年の在籍者数が2年連続で10人未満となった場合には再編整備を進める。

「集中取組期間」

道教委が所在市町村をはじめとした地域と連携して、高校の特色化・魅力化、入学者確保に取り組む期間（集中取組期間であっても5月1日現在の1学年在籍者数が2年連続して10名未満の場合には再編整備を進める（募集停止）

小さな高校だからできること 選ばれる高校 行きたい高校 地域から愛される高校

11月		
日	曜	行 事
1	土	
2	日	開校記念日 見学旅行①
3	月	文化の日 見学旅行②
4	火	見学旅行③
5	水	見学旅行④
6	木	見学旅行⑤
7	金	2年振替休日
8	土	
9	日	全商ビジネス計算検定 第2回英語検定(2次)
10	月	2年振替休日
11	火	
12	水	職員会議
13	木	
14	金	考査対策指導①
15	土	
16	日	
17	月	考査対策指導②
18	火	後期中間考査①
19	水	後期中間考査②
20	木	後期中間考査③
21	金	校内研修(午前授業)
22	土	
23	日	勤労感謝の日 全商ビジネス文書検定
24	月	振替休日
25	火	追考査①
26	水	追考査②
27	木	
28	金	素点確認・単票提出・一覧表提出
29	土	
30	日	

10/4 上高ミライ彩りフェスより

生徒たちが地域課題をテーマにした探究活動の成果として、多彩なアイデアを披露しました。企業と連携して開発した餅粉フィナンシェやサイダーなど今後、地域の特産品となり得る商品の販売、ワークショップや場内放送など多種多様な内容で老若男女誰もが楽しめる温かなイベントとなりました。町内外から多数の来場して下さった皆様から「美味しい」「楽しい」「頑張っているね」など好評を頂けるとともに、地域の未来を考えるきっかけとして、大変意義深い一日となりました。



ご協力いただいた企業・団体の皆様、ご来場くださった町内外の皆様、心より感謝申し上げます。皆様の温かい応援とご参加が、上川高校生の挑戦を支え、地域とのつながりをより深める原動力となりました。

今後も、地域とともに歩む学びの場づくりに取り組んでまいります。引き続き、温かいご支援をよろしくお願いいたします。

1年生進路啓発学習 in 旭川(21日) & 小樽(24日)

旭川市立大学および小樽商科大学との高大連携学習を実施しました。大学生との交流や講義を通じて、「学びとは何か」「進路選択のきっかけ」などを考える貴重な機会となり、生徒たちは新たな視点を獲得。現地では名所巡りや大学食堂など楽しい企画も体験。これをきっかけに今後の学校生活や進路選択に活かしていけるよう、学校としても継続的な支援を行ってまいります。

